



2018-2019年度 R1テーマ
インスピレーションになろう

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL:054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL:054-647-2300
FAX:054-647-2040
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

会長:島村 武慶 副会長:大塚 高弘 幹事:玉木 潤一郎 副幹事:平和則

♪ソング… 四つのテスト
♪ソングリーダー… 平野 純也君

第2262回
通常例会/小杉苑

■ 会長報告

島村 武慶君

まずは会長報告ですが、2月9日(土)第4グループの会長幹事会が磐田・袋井両クラブの運営で磐田グランドホテルで行



われました。その時の議題の中心は、やはり藤枝開催のIMです。いよいよですね。また、長年行われてきた第5、6分区の運営の違いも数年掛けて調整していこうという結論になりました。詳細は次回理事会にて詳細審議していく予定です。

本日は青島克郎研修リーダーによる、RLIセミナー例会です。今後のロータリー活動で必ず藤枝クラブとしても取り入れていかなければならないテーマですので、しっかりと皆さんで学んで行きたいと思います。

話は変わって、2月に入り「節分」を過ぎ、暦上の春を迎えました。昨年の節分の風習の恵方巻きから話題になった食品ロスの問題を今年の状況について触れながら今週の話題にさせていただきます。恵方巻き(えほうまき)とは、節分に恵方を向いて無言で食すると縁起が良いとされる巻寿司のことです。

「恵方巻」という名称は1989年にセブンイレブン広島県広島市中区舟入店の野田静真が「大阪には節分に太巻き寿司を食べる風習がある」と聴いて仕掛けたことにより、1998年から全国へ広がり、2000年代以降に急速に広まった。それ以前に「恵方巻」と呼ばれていたという文献類は見つかっていない。節分の縁起物「恵方巻き」について余剰品の大量廃棄に問題意識が高まりつつあるなか、早くも2019年節分当日の3日に余った食材が再処理施設に集まっていた様です。

以下Web記事参考

【余りすぎ…恵方巻きの材料の行く末】廃棄食料から豚の飼料を作る「日本フードエコロジーセンター」(相模原市中央区)では午前から、店頭に並ぶ前に食品工場で余った酢飯や卵焼き、のりなどが運ばれた。昨年よりは減少したが普段の倍近くのご飯ものの廃棄量となり、4日以降も売れ残った品々が運び込まれると予想される。担当者は「意識は高まっていると思うが食品ロスはまだ多い。社会全体で考えていかなければ」と話す。

大量の売れ残りが問題となっている節分の恵方巻きについて、廃棄される商品が全国で約10億円分に上るとの推計結果を、関西大の宮本勝浩名誉教授が1日までにまとめた。廃棄処分に伴う費用を含めれば、経済的な損失はさらに大きくなるとみている。

需要に見合った販売をするよう、農林水産省が1月にコンビニやスーパーの業界団体に要請した。

今回の分析では、民間アンケートなどから恵方巻きの消費人口を約3213万人と推定。1本800円で計算し、販売額を約257億円と見積もった。スーパーやコンビニへの調査などから廃棄率を4%と仮定し、損失額を約10億3000万円と算出した。

こんな問題を聞いて自分の出来ることからやろうと決め、今年は近所のしずてつストアに夕方遅めの時間に50%OFFの恵方巻きをしっかりと買って参りました。何か得した気分でした。また普段私は貧乏性で、スーパーの牛乳を棚の後ろから(賞味期限の長い物)取ってしまっていました。自分のできる食品ロスの改善で一番前の牛乳から買うように今は心掛けております。(笑)

■ 理事会報告

平和則君

- 4月例会プログラムについて、3日パスト会長卓話は、石垣さんへ依頼決定致しました。24日は、坐禅早朝例会となり、4月プログラムが承認されました。
- インターシティミーティングについて、現状の報告がありました。
IM 実行委員会・理事は、準備や確認の為10時集合となります。(昼食は魚河岸さんの用意があります。) その他、会員は12:30分集合となります。(昼食の用意はありません)
当日の慰労会は、後日会費形式で行います。当日の式典司会、玉木潤一郎君・事務局。懇親会司会、村松繁君・事務局。台本打ち合わせを12日事務局で開催します。

■ 幹事報告

玉木 潤一郎君

- 一般社団法人ロータリーの友事務所さまより2019-2020年度版 ロータリー手帳お買い上げのお願いが届きました。
ご希望の方は、事務局までお知らせ下さい。

■ 出席報告

渡辺 篤司君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
29/42 69.04%	34/42 80.95%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○青島鉄君 ○石間君 ○内田君 ○落合君
○鈴木邦君 ○仲田廣君 ○松葉隆君 石垣君
江崎友君 江崎晴君 大杉君 鈴木舜君
仲田晃君

(2)メイクアップ者

松葉 隆夫君(藤枝南)

■ R L I

クラブ研修リーダー
青島 克郎君



今年度のクラブ計画書の委員会編成表の欄外に記載されているように「RLI・規律グループ」が編成されています。クラブ研修リーダーの私がリーダーとなり、小西啓一さん、石垣善康さん、

青島彰君さん、前年度会長の鈴木舜光さんの5人のパスト会長がメンバーとなっています。

RLIとは

RLIとは[Rotary Leadership Institute](ロータリーリーダーシップ研究会)のことで

RLIは質の高いリーダーシップ教育を通じて潜在的なリーダーを育成し、ロータリークラブを強化するためのリーダーシップ開発プログラムを実施する、多地区の「草の根連合組織」として1992年に設立されました。

RLI 世界本部は RLI が最初に誕生したニュージャージー州に置かれています。

RLI 日本支部事務局は田中作次元 RI 会長の所属する 2770 地区にあります。

このプログラムの目的は将来ロータリークラブのリーダーシップを進めることが出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンにボランティア組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することが目的と記されています。

藤枝ロータリークラブにとっての R L I

今年度からクラブに R L I ・規律グループができました。特に「規律」という言葉が付け加えられたことに大きな意味があると思います。クラブが発展して行くのも、衰退してしまうのも会員の資質にかかってくるのではないのでしょうか。尊敬できるあの人がいる藤枝ロータリークラブに入会したい。藤枝ロータリークラブの素晴らしい活動に私も参加したい。そんなクラブになればどんなにか素晴らしいことかと思えます。会員増強活動も必要なくなるかもしれません。どうしたらそのようなクラブを作れるのでしょうか。まず、会員一人一人が自己研鑽をして4つのテストに示されるような、常に他人から尊敬されるような言動や振る舞いを実践し、同時にロータリークラブを理解し、積極的にクラブの活動に参加することが必要だと思います。

研修会で利用されるカリキュラムはパート1、パート2、パート3があり、内容はかなり高度なもので、質問に対して自分としての考えを述べる形式のものが多く見受けられます。

やはり、国際ロータリーや地区で行う高いレベルのリーダーのための研修プログラムだと感じられます。

将来はともかく、現在の藤枝ロータリークラブでは特別優秀なリーダーを輩出して地区やそのうえで活躍してもらおうということより、当クラブ

の会員すべてが他人から尊敬される人間に成長し、クラブが積極的な評価に値する活動をするために、このセッションの方法を利用することが有効だと思います。

当クラブをより良いクラブにするための研修セッションについて提案させていただきます。

1. クラブ会員全員のためのものとして開催し、例会の中で年2回以上実施する。
2. 使用するカリキュラムはRLIのカリキュラムの中から現在クラブにとって必要と思われるものは積極的に採用し、さらにクラブにとって必要と考えられる独自の項目を加える。これは規律という部分に係るものが多くなると思います。
3. 採用するカリキュラムの項目はセッション実施前にRLI・規律メンバーの会合を開き決定し、同時にセッションに参加するメンバーも決め、メンバーには質問する予定の項目をあらかじめ知らせ、準備する期間を与える。
4. ファシリテーターはRLI・規律メンバーが輪番制で行う。

このような方法ですとカリキュラムを検討するRLI・規律メンバーは最善の項目を選ぶために学ばなければなりませんし、セッションに参加するメンバーも事前に与えられた質問項目について勉強しなければなりません。出席した会員にとっても勉強の機会が与えられるということになります。

RLI・規律グループについて

今年度初めて採用されたグループですが、今後続けていくのに際して、メンバーは活動内容からいって、本年度のように、その年度のクラブ研修リーダーがまとめ役となり、新会員研修を行う前年度会長と3名のパスト会長を加えて5名体制が良いかと思えます。3名のパスト会長の任期はクラブ研修リーダーと同じとするはどうでしょうか。

活動内容を次のように明確にしたいと思います。

1. 事前に内容を検討したうえ研修セッションを年2回以上実施する。
2. グループメンバーのうち前年度会長が新入会の状況により新会員研修を開催する。必要に応じてクラブ会長とRLI・規律グループのメンバーも参加する。
3. クラブ役員や会員のための相談を受け、問題解決に協力する。

4. 地区のRLIから会合等への出席要請があった場合はクラブ研修リーダーが出席する。

模擬セッション

本日の模擬セッションではRLI・規律グループの小西さん、青島彰さんと島村会長、玉木幹事と平副幹事にお話し意義のあるものとなりました。



■ ロータリーの友紹介 池ノ谷 敏正君

『ロータリーの友 2月号紹介』

ロータリーの友2月号を横組みから紹介します。まずは7ページ。今月は平和と紛争予防／紛争解決月間ということから、特集記事「難民を知る」と題した、日本人も活躍しているという「国連難民高等弁務官事務所」の資料が紹介されています。

具体的に3人の難民に焦点を当てて、その人の難民としての動向、移動による環境の変化などが読みやすく書かれています。

平和な日本には全くと言ってよいほど縁のない難民問題ですが、世界にはこのような環境に生きなくてはならない人たちがたくさんいることを改めて実感させられます。

是非、読んでみてください。

つづいて24ページ、25ページには「R I会長への道」と題された記事が掲載されています。密かに、R I会長になりたいと野望を抱いている貴兄。

この記事を読んでも、4人目の日本人R I会長を目指してみたいかでしょうか。

30ページ31ページの「地区大会略報」には、第2620地区の地区大会が紹介されています。周辺地区の大会報告も載っていますので、比較して読んでみるのも面白いかもしれません。

続いて縦組みのページを紹介します。

4ページからは縦組みページのメイン記事「スピーチ」。

今月は、昨年3月国際ロータリー第2730地区宮崎県西部地区のIMでの関西学院大学教授久木田純氏の基調講演の要旨が掲載されています。

「21世紀世代の人生計画、地球と私の運命」題した話は、どちらかというといわゆる我々より我々の子どもや孫に読ませたい内容となっています。自分には関係ないと思いがちですが、活字離れと言われている現代を生きる子や孫に、話して聞かせるつもりで読んでみるのも一考かと思えます。

最後に31ページの「ロータリー・アット・ワーク」の文章編。

最上段に、今年から同じグループになった掛川グリーンロータリークラブの社会奉仕活動が紹介されています。新しく仲間となったクラブの活動を垣間見る良いチャンスかと思えます。

どうぞ、ご覧下さい。

以上、簡単ではありますが、ロータリーの友2月号の紹介をさせていただきました。

《2月～3月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
2/11	12	13	14	15
閉局	10:00～ 17:00	9:30～ 17:00	閉局	閉局
18	19	20	21	22
10:00～ 16:00	閉局	9:30～ 17:00	14:00～ 17:00	閉局
25	26	27	28	3/1
閉局	閉局	9:30～ 17:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00
4	5	6	7	8
閉局	10:00～ 16:00	閉局	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00
11	12	13	14	15
閉局	10:00～ 17:00	9:30～ 17:00	10:00～ 16:00	閉局
18	19	20	21	22
10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	9:30～ 17:00	閉局	閉局
25	26	27	28	29
10:00～ 16:00	閉局	9:30～ 17:00	10:00～ 16:00	閉局

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。



(担当/増田君)